

週間漁海況情報 2025年第45号

令和7年11月11日発行

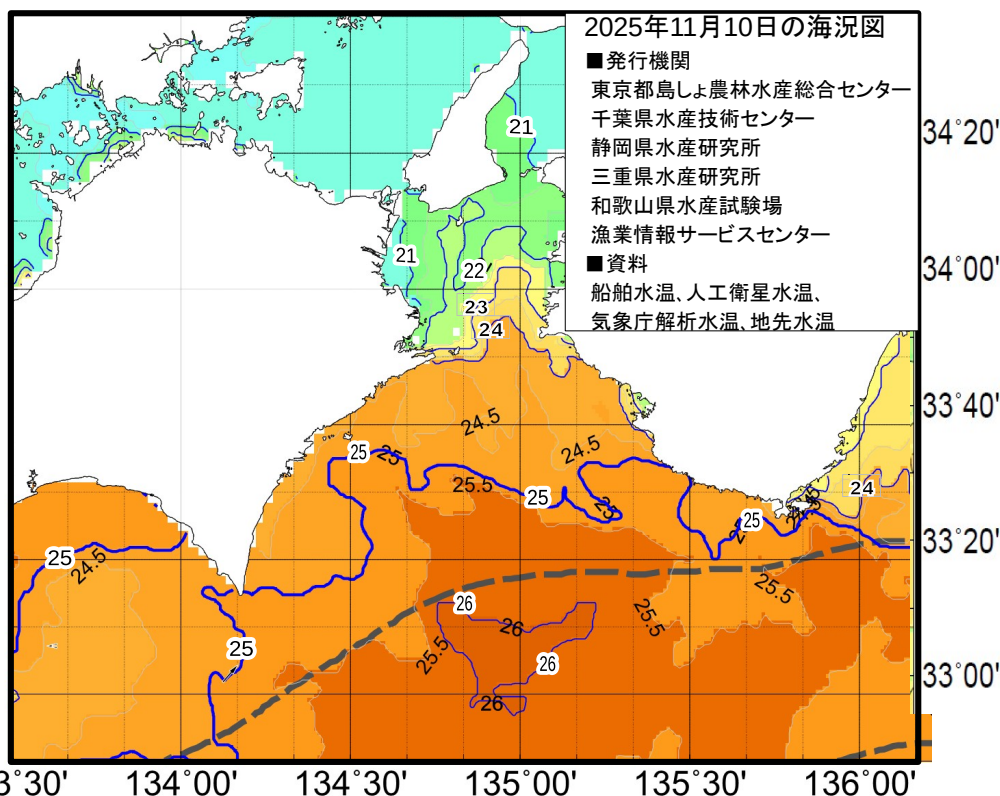
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～26℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で20、紀伊水道で20～23、海部沿岸で24～25℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

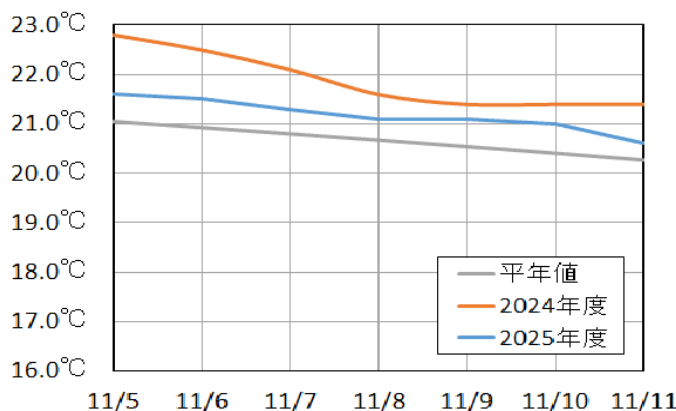
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(11月5日～11月11日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

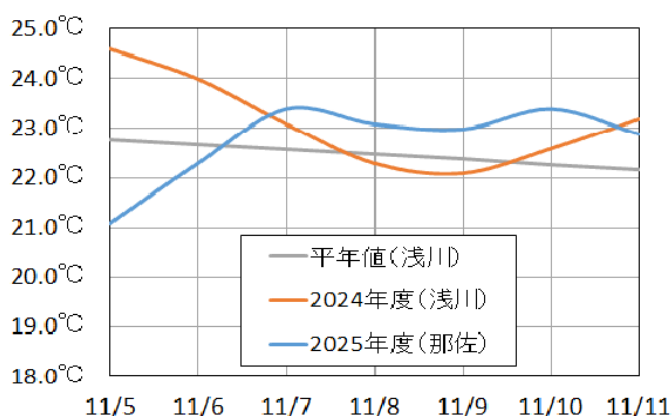
鳴門地区の水温は、21.6～20.6℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。那佐地区は、21.1～23.4℃。

鳴門と那佐地区の水温差は、-0.5～2.4℃だった。

鳴門地区



那佐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月12日～11月18日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (11月3日～11月9日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが61.3ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく減って1.9ト、あまだい類が増えて1.2ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が増えて4.1ト、ハモが中主体に1.4ト、クマエビが増えて1.2ト、かます類が増えて0.9ト、イボダイが大きく増えて0.5ト、いとより類が大きく増えて0.3ト、タチウオが大きく増えて0.3ト、モンゴウイカが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが増えて大主体に1.4ト、マアジが大きく増えて豆あじ級主体に1.3ト、アイゴが大きく増えて0.6ト、イサキが大きく増えて大主体に0.5ト、マルアジが小主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カマスサワラが大きく増えて0.3ト、アオリイカが増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	74	シラス	61,255	828		→
	延縄	40	サワラ	1,866	47		↘↘
		51	あまだい類	1,214	24		↗
	底びき網	31	えそ類	4,063	131		↗
		31	ハモ	1,350	44	中主体	→
		31	クマエビ	1,243	40		↗
		31	かます類	939	30		↗
		31	イボダイ	545	18		↗↗
		29	いとより類	323	11		↗↗
		29	タチウオ	310	11		↗↗
		31	モンゴウイカ	202	7		↗↗
	建網	37	カワハギ	238	6	大主体	↘↘
	小型定置網	20	カンパチ	1,405	70	大主体	↗
		23	マアジ	1,313	57	豆あじ級主体	↗↗
		18	アイゴ	603	34		↗↗
		17	イサキ	526	31	大主体	↗↗
		19	マルアジ	311	16	小主体	→
海部沿岸	釣り	10	カマスサワラ	255	26		↗↗
		51	アオリイカ	205	4		↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘